株式会社 エム・システム技研

取扱説明書

絶縁２出力ラック形変換器 ***W•RACK*** シリーズ

スペックソフト形
セルシン変換器

VJS

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概　要

主な機能と特長

●マイコン形セルシンモータ用（シンクロモータ用）変換器 ●折れ線リニアライザ内蔵、プログラミングユニット（形式：PU-2□）により設定可能 ●PU-2□によりループテスト用手動出力可能 ●ゼロ調整はトリマにより 360 °調整可能 ●密着取付可能

アプリケーション例

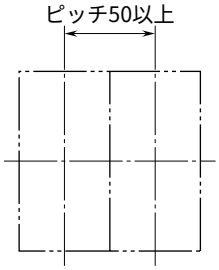
●電動アクチュエータ（弁、ゲートなどの駆動用）のセルシン式開度計信号を DC 4 〜 20 mA に変換してコンピュータやテレメータに入力 ●セルシン発信器付タンクゲージの信号を DC 4〜20 mA に変換してコンピュータに入力 ●サウンジング式レベル計のセルシン信号を DC 4 〜 20 mA に変換

設　置

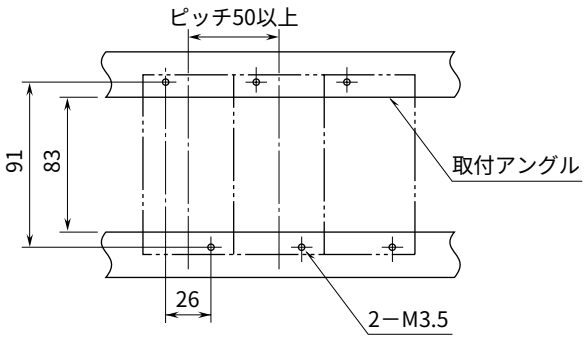
設置には次のような場所をお選び下さい。
●屋内で、周囲温度が -5 〜 +55℃の場所
●湿度が 30 〜 90 %RH で、結露しない場所
●雨や水のかからない場所
●腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
取付は、ラック取付または DIN レール取付が行えます。
取付は下図の要領で行って下さい。

取付寸法図（単位：mm）

●DINレール取付の場合



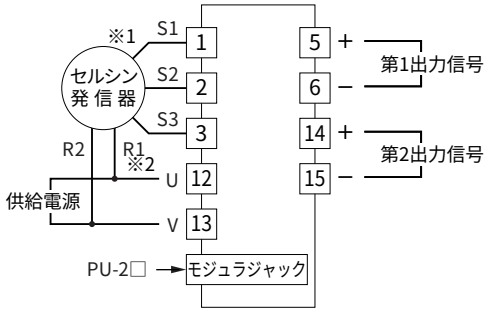
●単体または多連取付の場合



接　続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。

端子接続図



※1、セルシン発信器が時計回転（CW）のとき出力増加となります。反時計回転（CCW）で出力を増加させるにはS2とS3の信号を入れ換えて下さい。
※2、電源には極性があります。セルシン発信器のR1とR2の接続に注意して下さい。接続を逆にすると出力信号はセルシン発信器軸換算で180°ずれます。

調　整

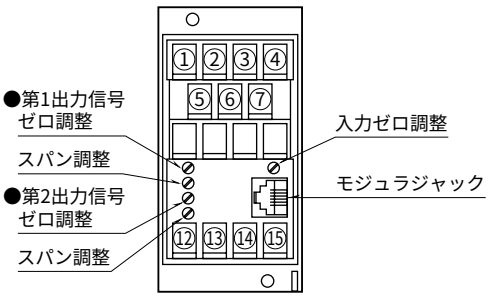
弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。角度レンジ・角度オフセットの設定およびゼロ・スパン調整は、プログラミングユニット（形式：PU-2□）によるキーイン設定で行います。詳しくはプログラミングユニットの操作マニュアルをご参照下さい。
なおユニット本体の電源を入・切するときは、必ずプログラミングユニットのカールコードを取外して下さい。またプログラミングユニットがない場合は、トリマでのゼロ・スパン調整が可能です。下記の要領で行って下さい。

●入力ゼロ調整

VJSを動作状態にし、入力信号を0％にします。次にVJSの出力が0％になるようにトリマを回転させます。このとき、トリマを回し続けても出力が変化しなくなった場合は、トリマを逆回転させて出力を0％に調整して下さい。

●ゼロ・スパン調整

①模擬入力信号を0％相当値に設定し、ZEROで出力を0％に合わせます。
②模擬入力信号を100％相当値に設定し、SPANで出力を100％に合わせます。
③再び、模擬入力信号を0％相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。
④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰返して下さい。
⑤第2出力についても、同様に校正して下さい。



点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。
②入力信号および供給電源の電圧は正常ですか。
　セルシン発信器と本器の接続が①－S1、②－S2、③－S3、⑫－R1、⑬－R2となっていれば正常です。
　なお、本器の電源には極性があります。接続を逆にすると出力信号はセルシン発信器軸換算で180°ずれますので、注意して下さい。
③出力信号は正常ですか。
　負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

雷対策

　雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

　本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。